

休館中の活動について

■展示事業

○常設展示（近世エリア）の展示替え

・目的

本展示替えは、従来の展示が「堺の産業・文化」を主題とし、産業文化の紹介に重点を置く一方で、通史的な理解を得にくい構成となっていたことを踏まえ、近世における堺の歴史を都市と農村の両側面から紹介することを目的とする。

具体的には、近世エリアを「都市」と「農村」の二つのパートに区分し、「都市」パートでは、大坂夏の陣による都市の焼失から徳川幕府による復興事業、大和川付替えによる景観や港湾機能の変化などを、時系列に沿って紹介する。一方、「農村」パートでは、これまで展示で十分に扱われてこなかった農村部に着目し、17世紀に進められた大規模な新田開発を中心に構成する。

また、従前重点的に取り上げてきた「産業文化」パートについては、特論として位置付け、定期的な展示替えを行い、近世から近代にかけての展開を解説する。

実物資料に加え、タペストリーや解説パネル等を効果的に用いることで、来館者が近世堺の歴史の変遷を多角的に理解できる展示をめざす。

・展示構成（【図1】参照）

・展示替えスケジュール

1月末 解説パネル等原稿校了、2月末 解説パネル等納品、3月中旬 資料展示・パネル設置

■資料収集保存事業

○館蔵資料データベースの更新

登録作業については、古文書群を中心に一括登録を進めている。休館中新たに4,182件を登録予定であり、令和7年度末時点で8,848件の登録を見込んでいる。

また、分野や登録者によって差異が生じている登録内容の統一をはかるため、項目の見直しや登録用マニュアルの作成を行っている。

■普及広報事業

○出前授業「むかしの暮らしを知ってみよう」

- ・休館により、冬季に学校団体（主に小学校第3学年）の受け入れができなくなることを踏まえ、堺市内の小学校を対象に出前授業を実施する。火のし、黒電話、石うす等の生活道具や、けん玉、かるた等の遊び道具を用い、ワークシートやスライド、実物資料による体験学習を行う。

申込：37校（昨年度1～2月の学校団体受入実績：28校）

○SNS

- ・館公式 Instagram において、企画「学芸員 Everyday Talk」（館蔵品を中心とした資料解説）を実施。休館中に全82回投稿予定。
- ・フォロワー数は、休館前（11月3日）は875人、2月10日現在で1,050人。

■国際機関との連携事業

○出張パネル展「日本の無形文化遺産」

- ・ユネスコ無形文化遺産に登録されている日本の無形文化遺産23件のうち、代表的なものをパネルで紹介。解説シート、堺市博物館パンフレット、IRCIパンフレットを無料配布。

- ① アリオ鳳（1階フードコート横 情報コーナー） 令和8年1月14日（水）～27日（火）
- ② みはら歴史博物館（M・Cギャラリー） 2月5日（木）～3月1日（日）
- ③ イオンモール堺鉄砲町（2階 SM2 keittio 前） 3月5日（木）～15日（日）
- ④ 堺市役所（本館エントランスホール横 階段下スペース） 3月17日（火）～29日（日）